

令和6年度入試
大学合格体験記

合格実績

東京大学 1名 京都大学 8名 大阪大学 5名 神戸大学 4名
国公立医学科 4名 旧七帝大 19名 国公立大学・大学校 136名

慶應義塾大学 1名 早稲田大学 6名 同志社大学 53名
私立医学科 4名 関関同立近 292名



興國高等学校

進学指導部

目次

2	— 東京大学	松本 愛斗	スーパーアドバンスクラス
2	— 福井大学(医)	富永 将太郎	スーパーアドバンスクラス

3	— 京都大学	南山 遥輝	スーパーアドバンスクラス
3	— 京都大学	石崎 勝也	スーパーアドバンスクラス

4	— 京都大学	三宅 朋希	スーパーアドバンスクラス
4	— 大阪大学	宮武 優朔	スーパーアドバンスクラス

5	— 大阪大学	ライ ヨン シェン	スーパーアドバンスクラス
5	— 神戸大学	藤本 悠聖	アスリートアドバンスコース

6	— 神戸大学	牧原 龍之介	スーパーアドバンスクラス
6	— 名古屋大学	山下 拓真	スーパーアドバンスクラス

7	— 名古屋大学	東 賢蔵	アスリートアドバンスコース
7	— 九州大学	中田 結星	スーパーアドバンスクラス

8	— 大阪公立大学	岩本 拓優	ITB科
8	— 滋賀大学	齋藤 碧良	ITB科

9	— 島根県立大学	平澤 凜	アカデミアコース
9	— 同志社大学	大橋 陽彩	アドバンスコース



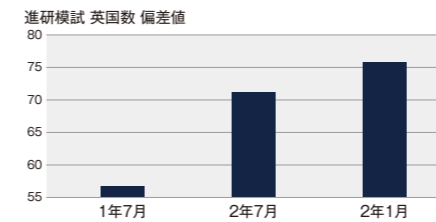
私にとって東大生は 線の向こうにいる存在でした

スーパーアドバンスクラス
松本 愛斗
(堺・五箇荘中学校卒)

○合格大学 **東京大学(理科I類)**
防衛医科大学校(医学科) 他

大学での教養課程を受けずに進学する学部学科を決定するのに抵抗があり、大学2年時に選択制度のある東京大学が自分の性格に合っていると思ったため、志望しました。最も得意だった数学を勉強する際に意識していたのは、解けなかった問題や思いつかなかった解法の解答を見て、行間を埋めることでした。一行一行について、その解法を取った理由、式変形の目的といったことを論理的に説明できるようにしました。高校の先生方の幅広い数学観に触れたこともあり、得意だと思っていた数学が本当に得意になったことが実感できた3年間でした。私にとって東大生とは線の向こうにいる存在でした。能力的な意味ではなく、存在として手の届かないものだと思っていました。しかし、東京大学に合格した今、その線は自分自身が生み出した幻影だと感じました。手の届かない存在ではなく、私と何も変わらない19歳だということをあらためて知ることができました。今後、彼らと切磋琢磨できると思うと、楽しみでなりません。

私自身は当日のコンディションや、何かのせいで当日実力が出し切れず不合格になってしまい、一年浪人することになりました。そのため、これから受験する皆さんには学力だけでなく、本番での時間戦略、メンタルトレーニングといった目に見えない得点力を身につけることをお勧めします。勉強時間が少ないと「もっと勉強しなければ」という危機感をもつ人が多いですが、できない自分を認めてあげることが勉強時間を伸ばす第一歩です。勉強時間の多寡など個性の一つに過ぎません。自分を責めず、少しずつ成長していきましょう。



担任コメント

入学時は決して飛び抜けた成績ではありませんでしたが、素直な性格で教科担当の先生の言うことをすぐに吸収して成績を伸ばしてくれました。現役のときは、あと少しの差で合格できませんでしたが、後期で合格した医学部を辞退して東京大学を目指しました。卒業しても指導を受けに制服で興國へ通い続けた松本くんの姿を忘れることはないでしょう。



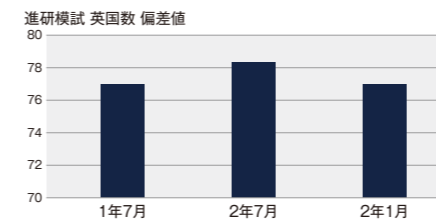
家族や先生方の励ましのお陰で 自分の8年間が実った

スーパーアドバンスクラス
富永 将太郎
(履正社学園豊中学校卒)

○合格大学 **福井大学(医学部医学科)**
関西医科大学(医学部医学科) 他

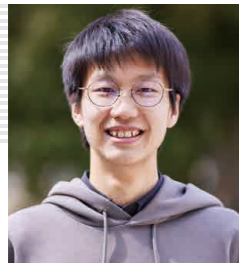
小学校4年生のころから持っていた外科医への憧れと、興國高校での探究講座から興味を持った医療技術の開発の双方が実現できる大学ということで、国立大学の医学部医学科を志望していました。共通テストの点数が思ったよりも取れなかったこともあり、現役での合格は諦めていたところもありましたが、共通テストリサーチ後に担任の先生や学生チューターの先輩と相談し、自分の強みと配点を照らし合わせて、自分にあった大学を選択することができたことが合格の要因だったと考えます。特に、医学部は大学ごとに問題の特徴があるので、自分に合った大学を選ぶと偏差値や共通テストの点数とは関係なく合格できるということを実感しました。2次試験の数学が終わった後、大きなミスをしてしまい落ち込んでしまったのですが、演習担当の熊谷先生と電話をしたことで落ち着き、その後の英語や理科で、取り返すことができました。この3年間、本当に先生方に頼り切って過ごしていたことを認識させられました。数学が苦手だった僕は、典型問題を一間でも多く解いて身につけるといった興國高校独自の指導がとてもぴったりマッチしていたと思います。

家族や先生方の励ましのお陰で自分の8年間が実ったのだと思っています。今までのサポートに感謝しきれないほどの感謝をしています。今から新たなステージでの勉強になりますが、気持ちを入れなおして頑張り、良い医師になりたいと思います。



担任コメント

安定して高い成績を出し続けていた富永くんでしたが、3年生から難易度を増す理数系科目の克服が合格への鍵でした。最後の追い込みが合否を分けたのでしょうか。得意な英語を活かし、最後は合格を勝ち取ってくれました。努力できる才能を活かし、立派な医師になってください。



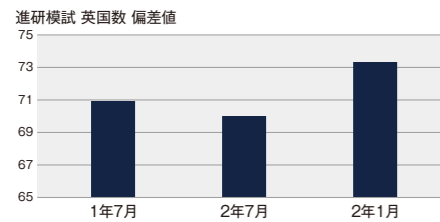
あくまでも大切なのは日々の授業です

スーパーアドバンスクラス
南山 遥輝
(大阪・加美南中学校卒)

○合格大学 **京都大学(農学部)**
近畿大学(医学部) 他

京都大学は入学当初から志望していました。最初は製薬の研究者になりたいと考えていましたが、化学の授業で有機化学に出会ってからは、製薬よりも少し広い視点を持って有機化学の研究をしたいと思ったため、京都大学農学部森林科学科への出願を決めました。高校3年間は市販の問題集にも取り組みましたが、あくまでも大切なのは日々の授業です。市販の問題集は日々の授業の復習と先生方が出す課題が完璧ならば手を出しても良いです。(例えばスーパーアドバンスクラスなら、森脇先生の英語ノート、小西先生の有機化学の課題、熊谷先生が数学の典型問題だという問題等) また、京大実戦や京大オープンなど冠模試と呼ばれる大学個別の模擬試験に取り組むことができたのも良い経験でした。とにかく、日々学校から準備してもらった教材をおろそかにしないことが全てです。

共通テストは予定通りの点数が取れたため、はじめは工学部への出願を検討しました。ただ、最後まで数学に不安があったため学校の先生方と面談を繰り返し、配点と自分の教科バランスを考慮し、最終的には農学部の森林科学科への出願を決めました。農学部は自分の得意とする英語の配点が高く、当日の数学を失敗しても取り返せる自信がありました。実際、2次試験の初日、数学で失敗はしていましたが、予定通り英語と理科で挽回し、逆転合格することができました。大学で新しい勉強をしたいという思いが強かったので、浪人して高校範囲をもう一度勉強する必要がなくなって安心したというのが、合格発表を見た直後の率直な気持ちです。



担任コメント

英語と理科が得意な南山くんでしたが最後まで、数学には悩まされていました。最終的には自身の適性を見極めて、農学部への合格を勝ち取ることができました。将来は、日本を代表する有機化学の研究者になってほしいと思います。

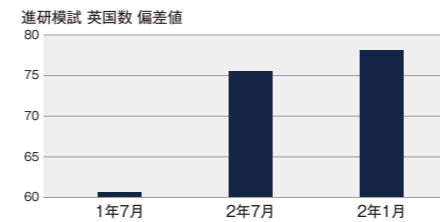


京大模試の数学はすべて満点でした

スーパーアドバンスクラス
三宅 朋希
(松原・松原第七中学校卒)

○合格大学 **京都大学(経済学部)**

スーパーアドバンスクラスは理系がメインのカリキュラムでしたが、文理の垣根にとらわれるのが嫌だったので、高校3年間は様々なことを学びながら活動をしてきました。理化学研究所の見学や、生命倫理についてのワークショップなど、色々なことに興味を持ちました。多くの探究活動を経験する中で、株式会社ユーグレナの社長の南雲氏とのワークショップが一番心にのこっています。南雲氏はパングラディッシュの栄養不足の実態を見てソーシャルベンチャーを立ち上げ、彼らを栄養不足から救うことができました。わたしも、経済学の面から世界を救うことができると強く思い、京都大学の経済学部を志望しました。興國高校に入学することで、互いを磨き合える仲間に出会い、学問としてだけでなく人間として成長できる環境で学生生活を送れたことに強い感謝の念を持っています。また目指す方向が同じ人だけでなく、興國高校には様々なコースがあり、自分とは違った価値観を持った友人に恵まれ、刺激を与えてもらいながら成長することができました。毎日課題や個別指導のおかげで、得意科目である数学を伸ばすことができたのがとても良かったです。特に京都大学との問題とは相性が良く、11月以降の京大模試では満点以外の点数を取ることはありませんでした。数学に自信があったおかげで、英語や地理など、やや不安な教科を固めることができました。共通テストで失敗していたため、2次試験本番では想像以上に緊張していたので、数学は満点を取ることができませんでした。強化していた英語や地理のお陰で合格を勝ち取ることができました。大学では経済の面から社会のシステムを見つめ、自分の興味を持ったことを何でも探究したいと思います。



担任コメント

入学時からみるみるうちに成績を上げ、志望校合格を果たしてくれました。文理問わず学習に励んだ三宅くんですが、数学に関しては理系の生徒でも太刀打ちできない力を身につけました。リサーチではE判定でしたが、持ち前の二次力で逆転合格を果たしてくれました。



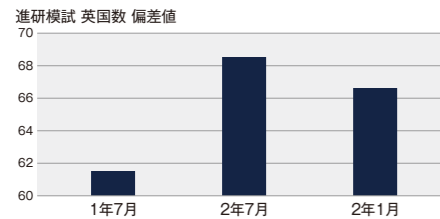
B判定なんて一度も見たことがなかった

スーパーアドバンスクラス
石崎 勝也
(堺・晴美台中学校卒)

○合格大学 **京都大学(工学部)**

大学で応用的な研究がしたいと考えており、学問から物作りまで幅広く扱っている工学部が良いと思ったため、京都大学を志望しました。偏差値が高く知名度もあり、最先端かつ国際的な研究が行われている、日本でも数少ない大学のひとつだったため、進学へのモチベーションが高まりました。3年間の学習の中では、成績が伸び悩んだり、想像より模試の順位が低かったりもしましたがまったく気にしませんでした。ストレスが溜まったときは、自分の好きな科目を勉強したり、将来自分がしたいことを考えたりしながら勉強したりすることで、日々を楽しく過ごすことができました。それでも、勉強を毎日続けることはとても辛かったのですが、日々のノルマを必ずこなし続けました。3年生になってからは、京都大学の模擬試験が始まりましたが、一度も良い判定は出ませんでした。A判定どころか、B判定も一度も見たことがありませんでした。それどころか、共通テストも全く点数が取れませんでした。他の大学には行くつもりがなかったので気にせずに出願しました。模試や共通テストの結果で大学受験が決まるわけではありません。とにかく本番に力が発揮できるよう、出願後も日々努力しました。第一志望の物理工学科ではなく、第二志望だった理工化学科での合格だったため、進学するかどうかわる部分もありましたが、隣接分野もしっかりと学習できるということを開き、進学を決定しました。

大学に合格した今、まだ実感はありませんが、大学受験が終わったことに対する安堵感があります。これからは、自分のやりたいことに向かって自由に勉強できることが楽しみでしかたがありません。今は、受験を支えてくれた人々への感謝の気持ちでいっぱいです。



担任コメント

自然科学分野のあらゆることに興味を持っている石崎くん。おそらく誰よりも興國の先生の課題等に取り組むことができた生徒だったと思います。共通テストは70%前後と奮いませんでしたが、自分を信じて出願し、見事に合格してくれました。



塾や予備校に通うことなく、現役合格ができました

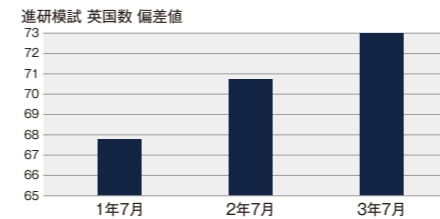
スーパーアドバンスクラス
宮武 優朔
(大阪・友誼中学校卒)

○合格大学 **大阪大学(基礎工学部)**
同志社大学(理工学部) 他

基礎工学部は大阪大学にしかなく、さらに「科学と技術の融合を目指す」という理念、そして研究者を育てる校風に惹かれたため、基礎工学部の情報科学科を志望しました。興國高校での先生方のサポートは素晴らしいものなので、先生方に付いていけば必ず結果が出ると信じています。特に僕は高校2年とときに物理があまり伸びず、とても辛かった覚えがあります。そこで学校の物理の先生に勉強の仕方、おすすめの参考書を教えていただきました。そしてそこから物理の成績が伸びていき得意教科にもなりました。僕の勉強のしかたを見て、適切なアドバイスをしてくれたおかげだったと思います。

大阪大学理系を志望する生徒は少なかったのですが、担任の先生や教科担当の先生はしっかりと個別指導してくれました。本当にありがたかったです。特に共通テストが終了してからの模擬試験や2次対策のおかげで志望大学の志望学科に合格することができました。塾や予備校に通う必要がなく、現役合格ができたのも先生方のおかげだったと思っています。

高校3年間は勉強漬けだったため、大学はまったく新しい環境で過ごすことになるので、正直不安を感じますが、その反面新しいことに挑戦が出来るようになったので、楽しみにも感じています。大学では様々なことにチャレンジしたいです。



担任コメント

ゲームプログラマーを志し、何としてでも阪大に行きたいという強い気持ちを持った生徒でした。基礎工学部の中でも京大レベルと言われる情報科学科に合格し、思いの強さを証明してくれました。日本を代表するようなゲームを作ってください!!「私はこの3年間誰よりも努力しました。」と受験前日に言ってくれたあの日のことは決して忘れません。

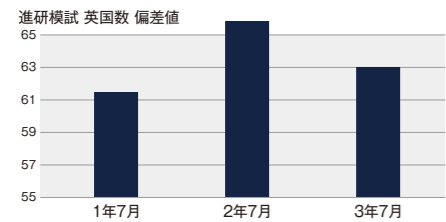


素直に、柔軟に、 忍耐強く勉学に励むということ

スーパーアドバンスクラス
ライ ヨン シェン
(大阪・天満中学校卒)

○合格大学 **大阪大学(外国語学部)**
慶應義塾大学(総合政策学部) 他

自身の立場、英語に自信があることを鑑み、大阪大学外国語学部を目指すことにしました。偏差値などによる制限はあったものの、地理で得た知識、将来的な可能性などを考えて、フィリピン語専攻に至りました。英語検定の一級を持っていたので、合格の可能性が高いのではと高をくくっていたのですが、2次の数学で合格が決定するという話を聞いて、一層勉強に力を入れました。先生の指示に従い、課題などに真剣に取り組みながら、思い出深い英検一級の単語帳(バイブル)を精神安定剤として使い、勉学に励みました。数学は学校教材のFocusGoldを使って進めました。もともと数学と国語は苦手だったので、マイナス思考に陥ることが多かったのですが、英検一級を合格したときのことなどを思い出しながら、ポジティブシンキングを肝に命じ、とりあえずやることを必ずこなしました。特に、英作文や個別指導をしてくださった英語の先生に頼り切ることによって、不安を和らげる試みもしました。慶應義塾大学の総合政策学部や同志社大学も受験しました。慶應義塾大学は苦しい小論文と英語だったのですが、まさかの合格でした。その半月後に大阪大学も合格したので、どちらに進学するかとても迷いました。最後の最後まで悩み続けましたが、語学に強みがあることから大阪大学への進学を決めました。受験のための勉学から脱出して、興味のあることを学びながら、これから社会でどう貢献するかを考える日々を楽しんでいます。これから受験をする人に言いたいことは、素直に、柔軟に、忍耐強く勉学に励むということです。努力は必ず報われると信じましょう!



担任コメント

英語だけしかできないということが悩みだったライくんでしたが、色々な先生方の支えもあって国語(小論文)と数学を克服し、見事阪大・慶応合格までたどり着いてくれました。自身の強みを活かし、アジアの架け橋になることを期待しています。

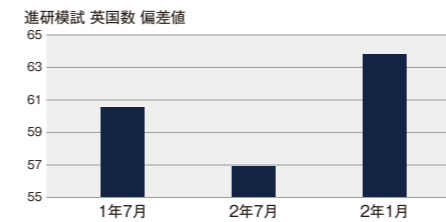


基本問題、典型問題を完璧にする

スーパーアドバンスクラス
牧原 龍之介
(大阪・大正西中学校卒)

○合格大学 **神戸大学(医学部看護学科)**
関西学院大学(生命環境学部) 他

将来、認知症患者の急増とそれに伴う様々な問題を解決したいと思ったため、認知症に対する治療やケアを専門に学ぶことができ、看護師の資格も取れる神戸大学を志望しました。高い志を掲げてスタートした高校生活でしたが、なかなか成績は上がりませんでした。それでも必死に毎日課題や単語テスト等に取り組んでいきました。(結果が出てくるのは個人差がありますが私は高校3年生になってからです。)自分が大切にしてきたことは、勉強面は「**基礎問題、典型問題を完璧にする**」ことです。基礎に戻ることを遠回りに思うこともあるかもしれませんが、受験が近づいてくると基礎の重要性を痛感します。できれば1,2年生のうちにしてください。もし、3年生で出来ていなければすぐにしてください。基礎力は最後に効いてきます。あと、困ったり悩んだりしたらすぐに先生に話してください。行きたい大学、学部に行けるように 一日一日、目の前の問題を大切にしてください。特に興國高校スーパーアドバンスの授業はとても質が高いので一つ一つ身につけてください。授業時間が長いので自習時間が短くなると思いますが、自分の課題、復習を頑張ってください。今の頑張りが将来の役に立ちます。自分自身、浪人ができない環境だったので国公立後期試験はだいぶレベルを下げたところに出願しました。正直、神戸大学は挑戦になってしまいましたが、出願して、本当に良かったです。特に試験当日、全てを出し切ったあとの爽快感は今でも忘れることができません。先生方、3年間本当にありがとうございました。



担任コメント

総合型選抜での不合格など、幾多の試練を乗り越えて合格を勝ち取ってくれました。真面目で、感謝の気持を持ちながらコツコツ努力する姿勢は研究職にも看護師にも向いていると思います。夢を実現させてください。成績が思うように伸びず悩む日もありましたが、最後まで諦めずに戦い勝ち取った姿は本当に感銘を受けました。

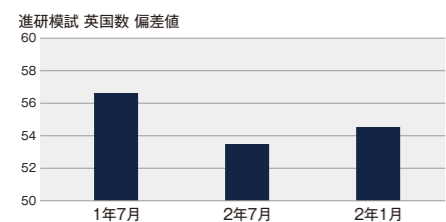


上手く向き合って辛さと共に進む

アスリートアドバンスコース
藤本 悠聖
(寝屋川・第四中学校卒)

○合格大学 **神戸大学(海洋政策学部)**
同志社大学(文化情報学部) 他

私立大学は学費が高かったため、家から通える国立大学を志望しました。また、幼少期からサッカーをしていたため、サッカー部の活動が盛んな大学に興味があり、これらの条件から神戸大学を志望しました。数学は現役時は怠惰でほとんど勉強しませんでした。数Ⅲを勉強し始めたのも現役時の10月からでした。一浪してからは予備校のテキストをひたすら完璧に仕上げました。理科は現役時セミナーをやっていたのですが、問題数が多く集中が続かなかったので浪人時は重要問題集に取り組みました。英語は現役時特にやっておらず、1日1題の長文を読んでいたくらいで、一浪の時は予備校の予習復習をしっかりとしました。今思えば、落ちて当然の現役生活でした。受験勉強をしていて辛かったことはたくさんあります。自分は10月ごろが本当に苦しかったです。持論なのですが、辛いことや苦しいことは乗り越えるのは無理だと思います。上手く向き合って辛さと共に進むしかないと思います。前期で落ちてしまって絶望しきっていたので、後期で受かっていたのが分かった時は全く実感が湧きませんでした。(実は神戸大学の合格最低点でした。)今は神戸大学のサッカー部でサッカーをすることがとても楽しみです。自分は現役時成績が全然よくなかったので、浪人して成績もすぐ伸び、学部は違えども志望大学に受かることができ終わってみれば本当に充実した1年だったなと思います。また、自分の浪人生活を支えてくださった方々、特にそばでずっと応援してくれた両親にはとても感謝しています。最後に、絶対に復習してください。復習をしなければどれだけやっても偏差値は上がりません。自分は現役時にこれが原因で落ちたので、同じ轍を踏まないように頑張ってください。



担任コメント

サッカー部ではトップチームに昇格するために、最後の最後まで頑張っていた藤本くんでした。現役時も同志社大学に合格しながら、もう一つ上をとうとうと浪人しましたが、努力が実って本当に良かったと思います。

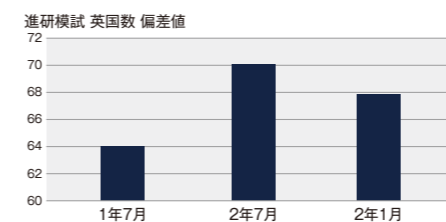


先生の助けを多く受け合格に繋がった

スーパーアドバンスクラス
山下 拓真
(八尾・高安小中学校卒)

○合格大学 **名古屋大学(工学部)**

基礎的な内容に重点を置き3年次までしっかり土台作りをするカリキュラムとノーベル賞を受賞するような名高い教授がいたため名古屋大学で学びたいと考え、受験しました。数学は熊谷先生に全幅の信頼を置き先生の作ったプリントをこなしていました。化学は小西先生に全幅の信頼を置き小西先生のプリントをやっていました。物理は竹村先生の他に岡西先生の作ったプリントや重要問題集をしていました。とにかく、学校の先生に信頼をおいて3年間頑張りました。ただ、覚悟はしていましたが、高校生活は、しんどかったです。けれどもクラスメイトには、たくさんの志が高い人がいたので、助けてもらいながら最後まで走り切ることができました。僕は**学校推薦型選抜で合格させてもらったということもあり、他の人より特に先生の助けを多く受けその結果が合格に繋がったと思っています。**この合格は僕の実力だけでとったものではないので、送り出してくれた先生方や友人に胸を張ってまた会えるように大学生活を濃いものになりたいと思います。ただ、ひとつ伝えたいことは、努力はどれだけしても足りないということです。僕より勤勉で賢い友人でも受験に落ちることはありました。本当に後悔しないようにあと一歩を踏み出してください。本当にどれだけ努力しても足りません。君たちの辛さが分かるとは言いませんが耐えて欲しいと願っています。そして、もう少しでいいので勉強してみてください。特に理系の人たちは、国語の授業を疎かにしないようにしてください。共通テストで痛い目にあります。



担任コメント

ハイレベルなクラスメイトの中で、誰よりも負けず嫌いな性格だったからこそ、成績が伸びたのだと思います。共通テストで思うような点数が取れなかったときも、自身の最善の道は何なのかということを一生涯に考え、名古屋大学の推薦を決断しました。

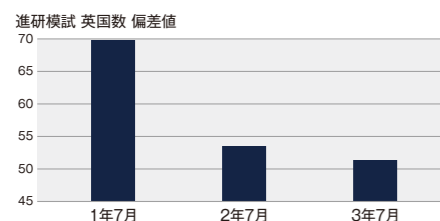


過去問分析のおかげで 推薦に合格しました

アスリートアドバンスコース
東賢蔵
(奈良・三笠中学校卒)

○合格大学 **名古屋大学(工学部)**

サッカー部に所属していた私は、高校2年生までは、積極的に学習をすることもせず、授業の内容は取りあえず頭の中に入れておくといい程度で、模擬試験などの成績はあまり奮いませんでした。サッカー部を引退した高校3年生の夏から本格的に受験勉強を始めました。まずは基礎を固めるために、教科書を何度も読み返し、基本問題を繰り返し解きました。特に数学と物理を得意科目にしたかったので、毎日少しずつでも問題を解くように心がけました。秋からは難関大の過去問に取り組むなど、2次力の強化に努めました。化学分野に興味を持っていた私は、共通テストの後に名古屋大学工学部の推薦入試を勧められ、理科の小西先生と一緒に出願書類の作成と口頭試問の対策を始めました。**名古屋大学やその他国立大学の口頭試問の過去問を解くことで、出題傾向や難易度を把握し、自分の弱点を見つけることができました。**また、受験した模擬試験を振り返ることで、どの分野を重点的に勉強すべきかを見極めました。勉強の合間にはリフレッシュも大切にしました。友人と話したり、軽い運動をしたりすることで、ストレスを解消し、集中力を維持することができました。最後に、家族や友人の支えが大きくなりました。この応援があったからこそ、最後まで諦めずに頑張ることができました。名古屋大学工学部マテリアル工学科に合格できたのは、努力と周囲のサポートのおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れずに、大学生活を充実させたいと思います。



担任コメント

サッカーに勉強とまさに文武両道を貫いてくれました。演習の時間が足りず、思うように成績が上がらない苦しさもあったと思いますが、そこはアスリートらしいタフさで最後まで諦めずに乗り切ってくれました。名古屋大学ということで、先輩のサッカー部の杉浦さんと一緒にサッカー部を盛り上げてください！

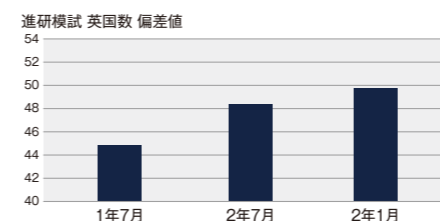


先生方に喜んでもらえたことが 合格よりうれしかった

ITB科
岩本 拓優
(榎原・畝傍中学校卒)

○合格大学 **大阪公立大学(商学部)**
明治大学(商学部) 他

私が大阪公立大学商学部志望を決めた理由は、教育実習で教員に来てくれたITB科の先輩が、実際の大阪公立大の雰囲気や面白さを直に語ってくれ、本当に楽しい大学なんだと確信できたからです。3年生の春に志望を決めてからは、1日必ず6時間勉強することを心に決め、一心不乱に学習に取り組みました。基本的には、共通テストの過去問や模擬問題のバックをひたすら解いていました。しかし、過去問などを解く上で数学の点数のパラッキが激しいことに気づきました。そこで、学校で配られたフォーカスゴールドで基礎を固めることに注力したところ、みるみるうちに共通テスト模試の成績があがりました。また、勉強の途中でいつの間にか別のことに意識を取られ、全く勉強に集中できないこともありました。その原因は休憩をとらずダラダラと勉強を行っていたせいだと考え、光で教えてくれるストップウォッチを使い、25分勉強5分休憩のサイクルを繰り返すことで集中力を維持して勉強が出来ました。そういった創意工夫の結果、学校推薦型選抜で合格が決まりました。合格発表の瞬間は、あまり実感がなかったのですが、**沢山の先生方が私以上に合格を思いつき喜んでくださり、この経験が合格という結果よりも嬉しかったです。**この経験を糧に大学でも楽しく勉学に励んでいます。大学の偏差値や現在の自分の実力は考えずに、色々な大学のオープンキャンパスに参加し、一番大学生活が楽しそうと思えた大学を目指しましょう。それが、私にとっては大阪公立大学でした。



担任コメント

学習意欲も高く持ち、自分自身に壁を作らなかった事がこの合格に繋がったのではないのでしょうか。簿記の全国大会出場など様々な場面で活躍してくれました。これからもその意欲で勉学に励み、色々な場所で活躍してください！



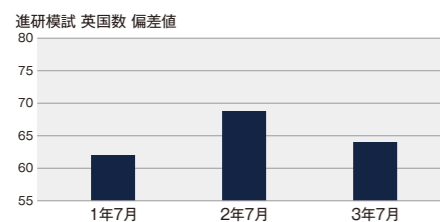
3年間はあっという間に過ぎました

スーパーアドバンスクラス
中田 結星
(大阪・大池中学校卒)

○合格大学 **九州大学(芸術工学部)**

土壇場で準備をした高校受験が上手くいかなかったため、大学入試では決して失敗しないようにしようという考えのもと、日々の授業や定期テストを大切にしてきました。音楽やメディアに関わる仕事をしたい、それについて学べる珍しい音響設計学科やメディアデザインコースがある九州大学を志望しました。九州大学の中でもかなり難易度の高い学部のようなので、正直合格したときは信じられない気持ちでいっぱいでした。受験生活についてですが、**自分は寝たり友達と遊びに行ったりして気分転換をしたりして楽しみながら勉強ができる性格なので、3年間はあっという間に過ぎました。**皆さんも集中しすぎには注意して、しっかり睡眠時間を確保して段取り良く勉強して欲しいです。スーパーアドバンスクラスは特に数学が強いので、2次試験での逆転合格をしているクラスメイトが多かったです。僕も、共通テストがとても低かったので正直出すことすら反対されるレベルでしたが、自分の意思で出して合格出来るととても嬉しかったです。また、応援してくれた先生たちにもいい報告ができたことはとても良かったと思っています。

不真面目なことばかり書いてきましたが、一つだけ伝えておきたいことがあります。それは、基礎を疎かにする人は確実に後で時間がかかることをやり直すこととなります。下手したら浪人をして人より一年多くかかることとなります。分かるからと言って問題をなめないようにしてください。原理や原則を理解して初めて問題が解けたと言っているのだと思います。



担任コメント

定期テストや課題を大切に、計画的にスケジュールを消化することの出来る生徒でした。のんびりとした雰囲気には似合わない、ハートの熱さで、こだわり抜いた九州大学に合格しました。学年が上がるごとにたくましくなっていく背中を見て、私も励まされました。自ら勝ち取った道を信じて突き進んでください。

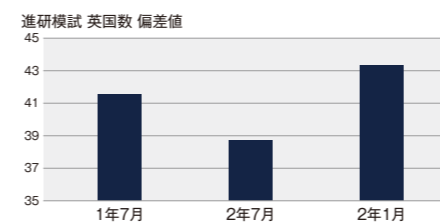


一日一日を大切に過ごしてほしい

ITB科
齋藤 碧良
(大阪・此花中学校卒)

○合格大学 **滋賀大学(経済学部)**
大阪経済大学(経済学部)

オープンキャンパスに行った際に、滋賀大学経済学部のキャンパスがある彦根市周辺の雰囲気が気に入ったため、志望しました。調べているうちに、大阪公立大学などと並ぶ由緒正しい大学だということを知り、志望の度合いが高まりました。国立大学のため学費が安いということも魅力の一つでした。また、リベラルアーツによる質の高い教育を受けられることができたのも理由の一つです。ステップ小論文や一度授業で扱ったテーマの小論文をもう一度自分で書き直してみたり、英語は、ビンテージやシステム英単語帳などを使ったりしながら、知らない単語を減らしたり、文法の復習をするなど、基本的には学校の授業で対策ができました。滋賀大学に出願するときに私は学校推薦型選抜と総合型選抜の両方を受けたので、6,000字以上の提出書類(志望理由書やエッセイ、活動報告書)を作成することになり、とても苦勞しました。ですが担任の先生や国語の先生にアドバイスを添削等してもらい、何とか出願に間に合わせる事ができました。感謝しています。**試験本番では、小論文のテーマが志望理由書を書く際に調べていたことや、政治経済の授業で習ったことに関する内容が出題されました。このように普段生活している中でふとしたことが役に立つこともあります。一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。**初めての一人暮らしや大学生活に関することで不安等も多少ありますが、それより、今までよりもっと、新しいことを滋賀大学での大学生活で経験することができると思うのでわくわくした気持ちでいっぱいです。



担任コメント

資格取得も含めて、1年時より頑張っていました。目標を設定し、諦めずに努力した結果が合格に結びついたと思います。苦手科目も粘り強くコツコツと積み重ねていました。これからの活躍に期待しています！



丁寧な進路指導に感謝

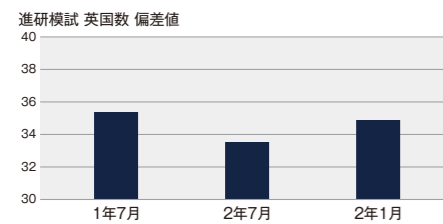
アカデミアコース
平澤 凛

(堺・上野芝中学校卒)

○合格大学 **鳥根県立大学(国際関係学部)**

尊敬する兄の影響もあり、幼少期より野球に携わり、高校入学後も3年間軟式野球部で投手として頑張ってきました。大阪府大会で結果を残すなど、野球は必死にやっていたつもりでしたが、学習面に関しては火が付きませんでした。高校2年生の頃は正直、目標が定まらずにだらけてしまい、本格的な学習を始めたのは3年生の8月になってからのことでした。進路は関心がある外国語が学べる学部ということで、初めは関西外大を志望していましたが、調べている中で、発展途上であるアジア地域の経済発展に強い興味を持つようになり、少人数で研究に取り組むことのできる国公立大進学合格を目指し、受験勉強をスタートしました。学力で今まで到底及ばなかった兄は、他の私立高校から私立大学に進学しましたが、僕は国公立大学に合格したいと思い、総合型選抜入試で鳥根県立大学を受験しました。先生方の支えもあり、無事に合格することができました。

父も、「ここまで細かく丁寧に進路指導をしていただいた興國高校に感謝しています」と言っており、家族ぐるみで興國高校のファンになりました。尊敬する兄の進路を越えることができとても嬉しいと思います。



担任コメント

学級委員長として、常に周りに気を配りながらクラス運営に大きく貢献してくれました。進路実現に向けて日々自分と向き合っている姿にたくましさを感じました。合格発表の日、彼の喜ぶ姿、彼と抱き合った日のことを昨日のように覚えています。

編集後記

今年初めて合格体験記を作ろうという企画が立ち上がったのですが、最初は生徒のありのままの言葉を見てもらおうということで、コメントのみを掲載する予定でした。しかし、編集作業を進める中で、生徒全員が学校をうまく使って受験対策をしており、しかも学校に感謝をしてくれているということに気がつきました。そこで、担任のコメントや生徒の顔を載せたらそれがもっと伝わるんじゃないか、成績の伸びを載せたらもっと面白くなるんじゃないかと思い、この形になりました。昨今、学校は授業だけであとは予備校に任せて、なんて学校もあるようですが、興國高校は授業だけではなく、生徒一人一人にフィットする大学を必死で探し、総合型選抜だろうが学校推薦型選抜だろうが、担任が最後まで寄り添うことのできる数少ない学校だと思います。しかも、世間でいうところの特進のアドバンスコースだけではなく、全てのコースでそれが実現出来ているのです。また、合格体験記を書いてくれた生徒たちは全員後輩たちのことを心配して、後輩たちに何か残すために文章を書こうとしてくれました。これもまた、自分たちが先輩や、先生たちから良くしてもらったという、証左なのでしょう。

そのような、温かみのある興國高校の生徒たちの努力が一人でも多くに伝わるよう、この合格体験記はつくられました。16名を選んで掲載しますが、120名の生徒がこの合格体験記に協力してくれました。最後にこの調査に力を貸してくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございます。皆さんの努力が将来の成功に結びつきますように。

興國高等学校 進学指導部より



数学ができれば世界が変わる

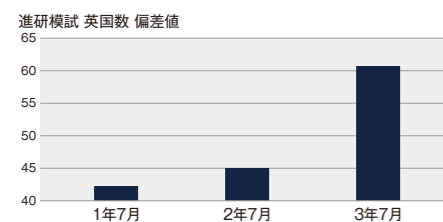
アドバンスコース
大橋 陽彩

(生駒・光明中学校卒)

○合格大学 **同志社大学(文学部)**

上代の文学の勉強がしたいと思い、私立は同志社の文学部国文学科を受験しました。英語が苦手だったため、文法や単語に時間を費やし、長文の対策を本格的にし始めたのが3年の10月頃だったので、基礎を固めることは本当に大切だと思いました。数学はフォーカスゴールドを使いました。正直、数学は演習量がものを言います。色々逃げってしまう科目ではありますが、逃げている暇があるのなら、教材を開きましょう。国語は学校の授業で対応できました。ここでも大切なのは、文法や単語を早めに終わらせておくことです。

同志社は本当に楽しいです。僕は部活動に入っておらず、先輩後輩の繋がりがあまりなかったため、新歓で先輩と色んなことを喋ったり、ご飯に行ったりするのがとても新鮮でした。受験生の皆さんも、今を乗り越えたらこういう楽しい未来が待っています、頑張れ！最後に、僕は国公立文系志望で第一志望には落ちてしまったけれども、本当に後悔したのは数学を疎かにしていたことです。**数学が出来れば世界が変わると思います。**僕が、数学を本格的に勉強し始めたのは3年になってからですが、気付いた頃には遅すぎました。日々の授業や先生の課題を大切に、しっかりと時間をかけて欲しいです。特に、国公立大学は本番で国語をしくじることが多いので、数学が出来れば他の受験生に差をつけることができます。



担任コメント

文系クラスには珍しく、最後まで数学を諦めず頑張った生徒でした。成績上位で、常にクラスを引っ張ってくれる存在で、同志社に合格したときは本当に嬉しかったです。大学生活を思いっきり満喫してください。

